



■発行/都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
 ■編集/地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
 ■ホームページ/https://www.miyakokai-kyoto.com/
 ■お問い合わせ/ Jfl@miyakokai.or.jp

理念
 ■患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
 ■医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
 ■職員の質の向上をはかります



今月のご長寿様

寺島 シスエ様

生年月日 大正11年9月7日生まれ(96歳)

「誰の仕事でもない仕事は私の仕事である」という考え方をする人のことを「面倒な人」「おせっかいな人」「迷惑な人」と呼びます。看取りの「仕事」にも普段と同じく「私の仕事」と「あなたの仕事」の他に「誰の仕事でもない仕事」というものがあります。道端にビールの空き缶が捨ててとあるとします。これを拾って、自前のゴミ袋に入れて「缶、ビン、ゴミの日」に出すのは「この空き缶を見つけた私の仕事である」というふうに見えることのできる人は「おもいやりのある」人です。「仕事のできる人」いうのは例外なく全員「そういう人」です。仕事の現場においても「私の仕事」と「あなたの仕事」の隙間に「誰の仕事でもない仕事」が発生します。これは「誰の仕事でもない」わけですから、もちろん誰かがそれをやらなくても、誰からも責任を問われることはありません。しかし、現にそこに「誰かがやらないと片付かない仕事」が発生した。誰もそれを片付けなければ、それは片付かない。そのままにしておけば、極論をいえばやがて大きな問題となり社会全体を脅かす災厄の芽となる。災厄は「芽のうちに摘んでおく」ほうが大きくなってから対処するよりずっと手間がかからない。社会における相互支援というのには要するにこういう「誰の仕事でもない仕事」や突然目の前で起こった出来事に進んで介入する「おせっかい」支援です。

仕事始めに当たり考える事

新年あけましておめでとうござります

2019年1月1日 己亥 元旦



医療法人 社団 都会
 理事長 渡辺 康介

新年のご挨拶



次ページへ

音楽を聴いて回想や冒険の旅へ

訪問看護ステーション にしがも 塩崎 曜子

皆さんは音楽と聞いて、何を連想しますか?好きな曲や歌手、皆と歌ったことや、楽器かもしれませんね。匂いと同じように、音楽にも昔を思い出す力があります。また、音楽にはリラックス効果や逆に脳を刺激する効果もあります。

例えば、体操をするにも、音楽を流しながらの方がのびのび出来るのではないのでしょうか?普段お話にならない方でも、音楽が流れると涙を流されたり、目をパッチリ開かれたり、中には一緒に口ずさむ患者さんに何度となく出会いました。

最近では、身体や脳のリハビリへの効果を説明する研究結果が沢山出ています。音楽に合わせて歩くと、リズムカルに歩くのを助けてくれるのでパーキンソンの方にも良いとされています。歌

詞を見ながら歌うと、忘れていた字を思い出したり、忘れるのを防いだりするのを助けてくれます。音楽と共に、手足を動かしたり、楽器を叩いたりするのも普段使わない筋肉を使い、気持ちもわくわくしてきます。

音楽には、星の数ほどの種類や曲があります。皆様がお気に入りの曲に出会い、回想や冒険の旅にお出かけ出来ますように。



「キンセンカの会」追悼式のご案内

毎年、当法人とご縁をいただき、ご逝去されました方の家族様をご招待して追悼式を開催しております。今年度より「キンセンカの会」と命名し、この会を通してご家族の皆様と一緒に故人を偲び、心あたたまるひと時を持ちたいと願っております。これまで、ご都合によりご参加いただけなかった家族様にもぜひ足を運んでいただきたく存じます。下記の通り開催させていただきますので、ご臨席賜りますようご案内申し上げます。

日時：平成31年3月17日(日)
 午前10時開始(約2時間ほどを予定しております)

場所：西賀茂デイサービスセンター
 京都市北区西賀茂鹿ノ下町48番地

ご参加いただける方には、詳しいご案内をさせていただきますのでお手数ですが、診療所までお電話にてご連絡ください。

渡辺西賀茂診療所 075-493-2124 (担当:松元)
 受付時間(8:30~17:30)



キンセンカの花言葉
 「別れの悲しみ」
 「変わらぬ愛」
 「静かな思い」

クロスイワード「答え」

オ	カ	メ	タ
イ	ダ	テ	ン
ジ	マ	ツ	チ
ク	リ	ヤ	ヨ
ウ	ン	キ	ユ

(テマリウタ・手鞠唄)

モデルサム基金

善意の浄財を、皆様より良い生活のお手伝いのためのボランティア活動に活用させていただきます。山本幸子様、市川様、山内俊男様、本田紀代子様、中石橋宏憲様、中村正治様、東道様、定井様、どうもありがとうございました。

すあまレシピ

すあま 20個分

〈材料〉

- 上新粉 200g
- 砂糖 200g
- 水 300ml
- 食紅 お好みで
- 塩 少々
- 片栗粉 少々

〈手順〉

1. 上新粉、砂糖、塩を耐熱ボールで混ぜる
2. 食紅（何色でも、お好きな色を）を本当に少しだけ入れます。
3. 少しずつ水を加えて、とろとなるまで、混ぜます
4. ポールにラップをして、600wで2分30秒加熱します
5. 一度ラップを外してよく混ぜます。一部かたまりはじめるかもしれませんが、全体を大きく混ぜます
6. もう一度ラップをして、600wで2分加熱します
7. 手を水に濡らしてこねます。棒状になるように整えながら片栗粉を敷いた巻きすでぎゅっとしめて、型をつけます。
8. ラップに包んで、いったん冷蔵庫で1時間ほど冷やしてから、一口大に切って、切り口にも片栗粉をまぶします。



日常の風景

今宮神社
あぶり餅屋さんに行ってきました♡



掘って～掘って～
また掘って～
こんなに獲れた
サツマイモ



今年も綺麗
でしたね♪
紅葉ドライブ



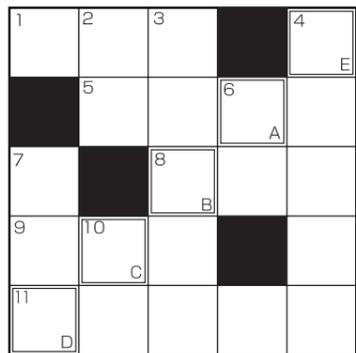
- 1 ひよこついで、対
- 5 足の速い神様
- 8 擦れば火がつく
- 9 厨と書く台所の略
- 11 運転休止の略



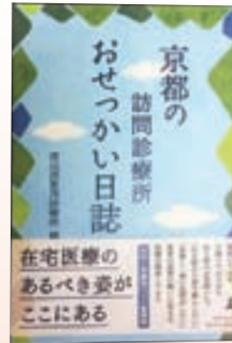
くまのガキ



- 7 過去や未来へ〇〇〇〇旅行
- 10 振れば鳴る
- 3 簡単な玉子料理
- 4 最も美しい鶴
- 6 〇〇は熱いうちに打て
- 2 栄螺、蛤、蜆など



『クロスワード』
出題 小田 正
「問題」
A～Eをつなぐと答えです



「本の紹介」

京都の訪問診療所 おせっかい日誌
～在宅医療のあるべき姿がここにある～
渡辺西賀茂診療所 編

（参考資料）
鷲田清一、内田樹、平松邦夫、釈徹宗…
「おせっかい教育論」株式会社140B
渡辺西賀茂診療所編 京都の訪問診療所
おせっかい日誌

最初に「災厄の芽」「誰の仕事でもない仕事」を見つけてしまった人間がそれを片付ける。誰もが「自分の仕事」だと思わない仕事は「自分の仕事」であるという姿勢が望まれます。目の前の支援を必要としている人や事柄について、つまり困っている人があれば支援の手をさしのべるという当たり前のことを当たり前に行われる社会であって欲しいと思います。

ということとで今夕方の五時です。皆がソワソワ帰り支度をしている時突然患者さんの御家族から緊急コールが入っています。「私の仕事」ではなく「あなたの仕事」でもない誰の仕事でもない仕事が入りました。こんな時に私は思います、すすんで患者さんのところに「行ってきます」というおせっかいな人が多ければ多いほど患者さんは救われるんだがなあ〜と。

第12回 都会メディカルケアシステム学会

毎年開催される都会メディカルケアシステム学会、今年は同志社大学教授の空閑浩人先生をお招きし、— 利用者の「生きる」「暮らす」を支えるということ — をテーマにご講演頂きました。



特別講演を通じて
感じたこと

ショートステイにしがも
佐藤 大輔

今回は同志社大学の空閑先生による利用者の「生きる」「暮らす」を支えるということとをテーマに話をさせて頂きました。

私達の仕事はご利用者の生活を支えることだとよく言われます。「楽しく過ごして頂きたい」「不安のない生活を送って欲しい」「居心地の良い事業所にしたい」「ご利用者の為に役立ちたい」といった思いや行動がご利用者の生活を支えることに繋がっています。そして実現する為に私達はご利用者の言葉や思いを尊重し、チームでケアを行い、多職種で連携を図っています。

今回の講演を通じてご利用者の生活を支える大切さ、楽しさ、難しさを改めて勉強する機会になりました。「生活を支える」と言っことは簡単ですが、実現していく為には、ご利用者に携わる全ての方が心からその人の生活に寄り添い、気持ちを共有していかなければならない。また悩んだり難しいと感じた時でもその人に関わり続けるのだという気持ちが大切なのだと思います。そしてこれからの仕事にだけでなく、自分の人生にも生かしていければと思います。



渡辺都美院長あいさつ